

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	社会福祉団体活動助成事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体に対し、行政では対応し難い福祉需要への多様な取組みに対し、社会福祉法に基づく財政支援を行い、地域福祉の推進を図る。		
6年度概要	社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体（3団体）の事業に対し、補助金を交付するとともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

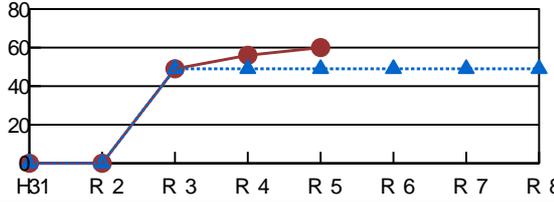
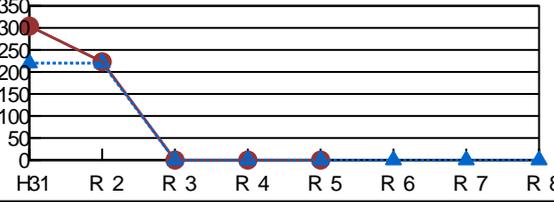
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民の日常生活上の諸問題の解消、軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
補助金交付団体数	団体	4	4	4	4	4

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
法人成年後見事業受任件数	件	目標値	49	49	49	49	49
		実績値	49	56	60		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 社会福祉協議会の事業として平成26年度より行われていた、法人成年後見事業を、令和3年度より成果指標として追加した。令和5年度は、目標値を上回る実績値となり、目標を十分に達成できた。 							
相談件数	件	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 成果指標として掲げていた「心配ごと相談」の相談件数については、令和3年度より当事業の財政支援を廃止したため、実績値を空欄としている。							

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	133,692	130,906	132,492	130,346
（事業費）	[千円]	123,877	127,164	127,976	125,830
（職員人件費）	[千円]	9,815	3,742	4,516	4,516

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域福祉推進のための事業を実施する高松市社会福祉協議会に対して補助金を交付することにより、地域福祉活動の充実に寄与した。また、社会福祉団体に補助金を交付することにより、地域福祉を支える基盤づくりに寄与した。令和3年度には、「ふれあいのまちづくり事業費」を廃止したが、今後、その他の補助金についても見直しを検討していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

厳しい財政事情を踏まえ、補助金の削減について各団体と検討していく。高松市社会福祉協議会については、平成30年度から経営赤字に対する人件費の強化分を増額していた。令和2年度には、補助金の支出方針自体について見直しを行った。見直し点については、「市社協全体の収支について赤字補てんするのではなく、総務・地域福祉部門の補助割合を見直し、今後、一定割合での補助を行うこととした。ただし、この定率補助については、令和6年度までの4年間とし、その後については、経営状況等を勘案し、再度判断するもの」としているため、令和7年度以降の補助金の支出について、改めて見直しを行う予定である。

令和 6年度 (5年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	戦争犠牲者追悼式等事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	日華事変(日中戦争)以降における戦没者、高松市戦災(高松空襲)犠牲者及び外地犠牲者等の御霊10,664柱を祭祀するための追悼式典を開催する。また、慰霊事業の推進のため、37地区遺族会及び2遺族団体に事業補助金を交付する。				
6年度概要	1 令和6年度高松市戦争犠牲者追悼式 ・日時 令和6年10月4日 ・事由 日華事変(日中戦争)以降における戦没者、高松市戦災(高松空襲)犠牲者及び外地犠牲者等の御霊10,664柱を祭祀 ・周知方法 案内状発送 広報掲載 関係3団体に周知				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類			

【事業の目的】

対象(何を)	戦争犠牲者
意図(どのような状態にしたいか)	戦争犠牲者の冥福を祈り、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識する場を提供することにより、二度と戦争を繰り返さない社会の実現を目指す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
追悼式案内状配布件数	通	1,179	178	188	188	3,600

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
追悼式参加者率	%	目標値	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
		実績値	8	42	41		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に引き続き、戦争犠牲者追悼式については規模を大幅に縮小して開催し、案内状の配布件数を減らしているため、成果指標の達成度については、判断し難い。 ・ 参列案内等通知 188通 ・ 参加者数 78人			(達成度) 506.2%	35点			
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
		実績値					
			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(決算)	令和 6年度(予算)
トータルコスト	[千円]	7,143	7,828	8,119	8,721
(事業費)	[千円]	2,613	2,589	2,850	3,452
(職員人件費)	[千円]	4,530	5,239	5,269	5,269

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

戦争犠牲者の冥福を祈り、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識し、戦争を繰り返さない社会の実現を図るため、戦争犠牲者追悼式を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して開催した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

高松市戦争犠牲者追悼式に関しては、遺族の高齢化等により年々参列者数が減少しており、令和6年度については、これまでより小規模な会場での開催を予定している。今後も参列者が減少していくことが予想されることから、事業のあり方自体を検討する必要がある。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域福祉の推進	電話番号	087-839-2372	
	基本事業	地域福祉活動の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	災害援護事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
6年度概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業 災害発生時に必要となる要配慮者のための段ボールベッド等の備品整備事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

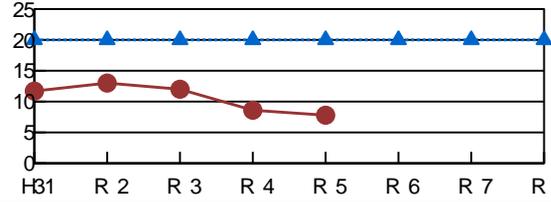
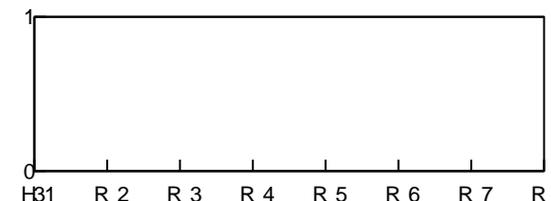
【事業の目的】

対象(何を)	要介護認定3～5の人など災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などの避難行動要支援者。
意図(どのような状態にしたいか)	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の人など(避難行動要支援者)に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
避難行動要支援者新規登録希望調査票発送数	件	3,879	6,679	5,377	5,000	5,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
避難行動要支援者新規登録率	%	目標値	20	20	20	20	20
		実績値	12	8.6	7.79		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>令和5年度における避難行動要支援者新規登録対象者5,377人に対して申請書を送付したところ、419人の登録希望があった。登録率は7.79%で、目標値としていた20%を下回った。なお、登録を希望しない理由として、「自力で避難できる」施設に入所した」など、登録の必要がない旨の回答を多数得ている。</p> 		 <p>(達成度) 39.0%</p> <p>13点</p>				
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)			 <p>(達成度)</p>				

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
トータルコスト	[千円]	19,960	17,533	16,040	32,884
(事業費)	[千円]	6,370	3,313	3,244	20,088
(職員人件費)	[千円]	13,590	14,220	12,796	12,796

【評価】

評価ランク (A～D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

災害時避難行動要支援新規対象者に対して、登録希望調査票を個別に送付し、登録をよびかけたほか、地域の説明会等に職員を派遣し、避難行動要支援者名簿の更新や個別避難計画作成について理解を得られるよう取り組んだ。
評価ランクが低い理由としては、令和3年5月に災害対策基本法が改正になり、個別避難計画作成が市町村の努力義務となつてから、個別避難計画作成に重点をおいた取組を行ってきたにもかかわらず、成果指標が名簿の登録率にあるところが、そもそも事業の効果を図り難い状況となっているため。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き地域コミュニティ協議会など、地域支援組織と連携しながら、避難行動要支援者名簿の情報更新と併せて、個別避難計画策定に向けての取り組みを強化していきたい。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域福祉の推進	電話番号	087-839-2372	
	基本事業	地域福祉活動の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	若者育成支援推進事業	事業期間	平成 29年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	社会生活を円滑に営む上で、ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者を支援するため、高松市若者支援協議会を設置し、協議会を構成する関係機関との情報交換を行うとともに、相互に協力・連携することで、若者それぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築する。				
6年度概要	協議会の開催 代表者会議 2回/年 実務者会議 1回/年				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

【事業の目的】

対象（何を）	社会生活を円滑に営む上で、ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する、おおむね15歳以上40歳未満の若者及びその家族
意図（どのような状態にしたいか）	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者が、健やかに成長し、持てる能力を生かし自立・活躍することができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
協議会等の開催回数	回	1	1	1	3	3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
協議会の構成団体数	団体	目標値	27	27	27	27	27
		実績値	27	27	24		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 高松市若者支援協議会代表者・実務者全体会議において、6つの分野の機関に協議会として協議会に参加いただき、本市のひきこもり支援についての情報共有を行った。なお、令和5年度から本協議会での協議内容をひきこもり支援に絞り、委員構成を変更した。		(目標達成度)					(達成度) 88.9% 31点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	9,203	10,084	11,074	11,212
（事業費）	[千円]	67	280	85	223
（職員人件費）	[千円]	9,136	9,804	10,989	10,989

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

これまでの会議で、ひきこもりを中心とした議論をしてはどうかという意見や、この協議会をひきこもり支援体制構築の取組としてのプラットフォームと位置付けていることから、本市のひきこもり支援についての情報共有を行うとともに、外部委員を中心とした支援検討ができるよう委員構成を変更した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

困難を有する若者とその家族のニーズを把握するとともに、特にひきこもり支援を中心に、支援機関の意見等も聴きながら、より効果的な支援施策を検討していく。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域福祉の推進	電話番号	087-839-2372	
	基本事業	地域福祉活動の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	ほっとかんまち高松づくり事業（高松型地域共生社会構築事業）	事業期間	平成30年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の实现のため、まるごと福祉相談員を配置し、地域の拠点や複合的課題を抱えた世帯等を訪問し、「参加支援事業」により、社会とのつながりを必要とする方への支援も行う。				
6年度概要	「まるごと福祉相談員」による支援等 社会とのつながり回復への支援 制度の周知啓発等 研修会参加等				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住の複合的課題を抱える高齢者・子ども・障がい者など支援を要する方・関係行政機関・団体、地域の企業、NP、自治会その他の関係者など
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者・子ども・障がい者などの分野にかかわらず、多くの地域生活課題について「まるごと福祉相談員」や地域の身近な拠点である総合センター等で、福祉の相談を受け付け、支援をコーディネートすることでワンストップサービスの向上を目指すとともに、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる活動を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
まるごと福祉相談員の配置	人	5	5	5	5	5
コーディネート研修会・勉強会等開催数	回	5	5	3	4	4

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
アウトリーチ（地域での情報収集・戸別訪問等）件数	件	目標値	2,816	3,644	3,644	3,644	3,644
		実績値	5,959	11,035	14,039		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>（目標達成度）</p> <p>385.3%</p> <p>35点</p>						
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>（目標達成度）</p> <p>60.8%</p> <p>21点</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	千円	58,196	77,544	126,665	76,020
（事業費）	千円	31,016	44,016	96,331	45,686
（職員人件費）	千円	27,180	33,528	30,334	30,334

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

引き続き、国の「重層的支援体制整備事業」を活用し、高松型地域共生社会構築事業を実施した。事業について、市職員や関係機関等に認識してもらい、実践していく必要があり、複合化・複雑化する課題に対する支援策や、新たな課題についての支援検討などが考えられ、関係機関等と連携しながら対応していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

福祉施策の縦割りの壁を超え、包括的な形で、市民・行政・関係機関が助け合う人的ネットワークを確立して、高松型の地域共生社会を構築する。
また、地域共生社会の構築に向けた考え方が浸透していくよう、周知啓発を行う。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域福祉の推進	電話番号	839-2372	
	基本事業	地域福祉活動の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業	事業期間	平成3年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	社会福祉法において、社会福祉法人が実施することが責務化されている「地域における公益的な取組」について、職員体制の脆弱性等から、単独で実施することが困難な小規模法人が、複数参画し、ネットワークを構築するとともに、各法人それぞれの強みを活かした地域貢献のための協働事業を実施するもの。				
6年度概要	協定福祉避難所体制整備支援事業 職員のスキルアップ等のための合同研修会				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	小規模法人（1の法人において1の施設又は事業所のみを運営しているような法人）
意図（どのような状態にしたいか）	小規模な法人を含め、地域の様々な福祉サービス提供機関が連携し、地域貢献のための取組が促進されるよう、その環境整備を図ることを通じて、地域における福祉サービスの充実とともに、重層的な支援体制の構築を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
参画小規模法人数	法人	23	23	45	58	58

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
ネットワークにおいて実施した事業数	件	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2	
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 災害時において福祉避難所が円滑に機能するよう、関係法人等で構成するネットワークを構築し、福祉避難所の役割や在り方などを整理・検討するなど、体制整備の支援を行った。また、社会福祉法人等の施設・事業所職員を対象として、福祉・介護人材のスキルアップ等を図るための合同研修会等を行った。		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	9,888	9,871	14,022	14,022
（事業費）	[千円]	8,000	8,000	8,000	8,000
（職員人件費）	[千円]	1,888	1,871	6,022	6,022

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

協定福祉避難所の設置に向けて、有効な議論が行われ、新たな課題が明らかになった。今後、更なる円滑な運営が実施できるよう、実地訓練の中で課題解決を行っていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

災害時において福祉避難所が円滑に機能するよう、関係法人等で構成するネットワークを構築し、福祉避難所の役割や在り方などの整理・検討を行い作成したマニュアルをもとに、訓練や研修の支援を行う。 また、社会福祉法人等の施設・事業所職員を対象として、福祉・介護人材のスキルアップ等を図るための合同研修会等を行う。
--

令和 6年度 (5年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域福祉の推進	電話番号	087-839-2346	
	基本事業	地域福祉活動の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	共助の基盤づくり事業	事業期間	令和 4年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	連層的支援体制整備事業の柱となる「共助の基盤づくり事業」として、地域サービスの担い手を確保し、インフォーマル活動の活性化を図る事業を実施する。地域サービスの担い手により運営できる世代や属性にとらわれない、新たな地域の交流・集いの場を創出する。				
6年度概要	地区社会福祉協議会が主体となり、多方面のボランティアが、交流・イベント・会食等の様々な活動を行う、共助の基盤づくり事業を各地区で実施する。また、地域のボランティア活動を発展させるため、高松市社会福祉協議会に地域の担い手養成業務を委託する。				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象(何を)	地域ボランティア等と地域の住民
意図(どのような状態にしたいか)	地域サービスを支える基盤となる組織を育成する観点から、地域づくりや地域サービスに欠かせない、地域ボランティアの確保・育成支援に取り組むことにより、福祉の向上や地域住民の支え合いによる、共助の基盤づくりに努める。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
事業実施回数	回	0	158	298	235	170

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
共助の基盤づくり事業実施箇所数	箇所	目標値	0	32	33	34	33
		実績値	0	24	33		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類感染症の位置づけとなり、活動実施箇所が増加し、目標を達成できた。	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(決算)	令和 6年度(予算)
トータルコスト	[円]	0	14,047	15,949	19,184
(事業費)	[円]	0	4,318	6,164	9,399
(職員人件費)	[円]	0	9,729	9,785	9,785

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

地域に応じた事業を円滑に進められるよう、高松市社会福祉協議会と連携を図りながら指導・助言を行うことにより、地域におけるボランティア活動の継続・活性化を図る。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

各実施団体の活動内容等を情報共有することにより、幅広い活動につなげられるよう検討する。